

職員・児童・保護者・学校運営協議会

まんだだより

本年度の取組

学校評価結果

本年度2回の学校評価の協力に感謝

例年、1月ごろにお願いしていましたが、「学校評価」ですが、今年度は、当初の取組の評価から改善策を講じて、同年度内に2回目の評価を取ることにしました。その結果については、本日各ご家庭にも配付させていただいています。

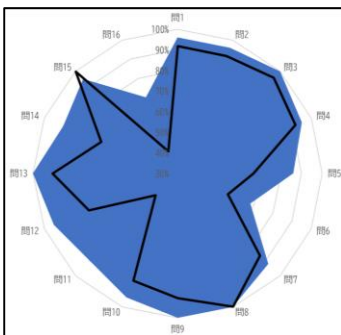
以前もお話ししましたように、前回の回収率が82%に対し、2回目は86%と4ポイント向上したこともありがたいことです。結果については、次年度の本校運営に反映させる材料としたいと思います。ご協力ありがとうございました。

太い線で表示しているのが7月に実施した1回目の結果になります。2回目の色付きの部分ですが、それぞれ上回っている項目が多いのが特徴です。

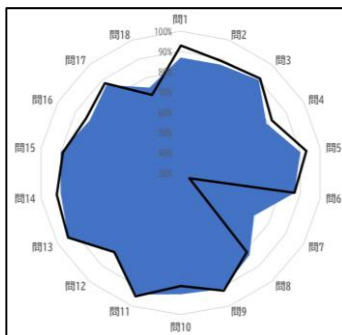
ただし、保護者の方の評価として低かった「自律性が備わっている」「メディアコントロール」「PTAの役員会でも話題になっており、対策を講じる予定かどうかです。

また、保護者にわかりづらいという項目(問14、問19など)は、今後お伝えする機会を増やしていきたいと思っています。

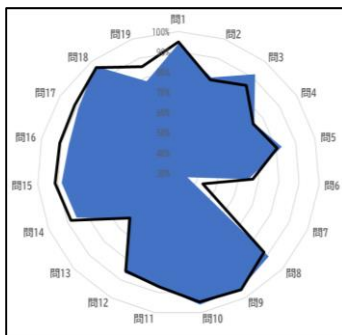
職員による評価結果



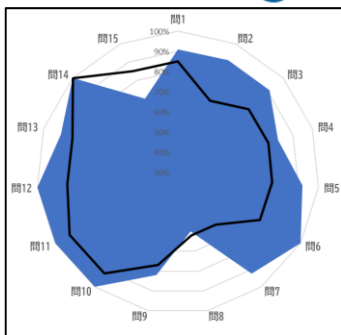
職員による評価結果



全児童による評価結果



保護者による評価結果



運営協議会による評価結果

学校現場に限らず、日本全国で働き方改革が叫ばれて久しいところですが、一言でいえば「働き方改革は、企業や働く人々、そして社会全体の今後に関わる重大なチャレンジ」と定義され、平成31年4月には働き方改革関連法案も施行されています。

月45時間、年360時間を超える時間外勤務を制限するきまりもできました。

法的なことでも大切ですが、何より、子供たちが1日のうち長らく共に過ごす先生たちが、元気で健康でなければ、わかる授業や楽しい学校生活を送ることはできません。先生たちのワークライフバランスを整えることが、質の高い教育につながるように、本校では、現在の次のようなことに重点的に取り組んでいます。

本校の働き方改革に向けた取組

- ①組織で素早い対応
学年部主任や生徒指導主任などと組織で動く
- ②ペーパーレスで
事務処理の効率化
会議等の時間を短縮
- ③留守電対応 *市内全校で導入
18時〜7時半は留守電
- ④学校ガイドやHP、
安心メール等の活用
早く正確な情報提供
- ⑤週1回定時退勤
を推奨
ウェルビーイングの推進

全国的に教員不足が深刻化しています。本校も、年度当初から定員に2名足りない状況でスタートしました。学校現場が、子供たちだけでなく、職員にとつて、魅力ある職場になることは、若者の教職希望者を増やすことにもなる重要なミッションです。次年度以降も、ご家庭や地域にも協力を得ながら、働き方改革をより一層進めて参りたいと思っております。